

# 私のしごと館のあり方検討会 の検討状況について

平成20年7月22日

# 私のしごと館の概要

- 主として中学生・高校生を対象に、職業意識の効率的かつ効果的な形成等を図るため、様々な職業体験機会、体系的な職業情報及び相談等をワンストップで提供。
- 早期の段階から若年者の職業意識形成を支援する施設として、キャリア教育等推進プラン※(平成19年5月29日)にも明記。

※キャリア教育等推進会議(青少年育成担当大臣、文部科学大臣、経済産業大臣、厚生労働大臣で構成)決定

- ・ 関西文化学術研究都市(京都府)に、平成15年3月プレオープン、同年10月グランドオープン(平成6年3月用地取得、平成12年2月建設着工)
- ・ 雇用保険料(事業主負担分)及び入館料等で運営
- ・ 建設費 581億円
- ・ 運営費交付金支出額 14.8億円、自己収入額 1.4億円(平成18年度)
- ・ 来館者数 32.4万人(平成19年度)
- ・ 各事業サービス利用者延べ人数 54万人(平成19年度)

## 展示・体験事業

関係業界団体等の協力を得ながら、

- ①「職業人として必要な意識・心構え」の理解
- ②「ものづくり」や「サービス」等約40職種の実体験
- ③プロの職業人による実演・実技の見聞、挑戦の機会を提供

機械工作の仕事の体験風景



個々人の適性に  
応じた進路・職業  
選択等の実現

職業体験や職業適性検査、キャリア・コンサルティング等を組み合わせたコース設定等を通じた連携

職業適性検査・職業情報の提供、キャリア・コンサルティングの実施、セミナーの開催等

# 私のしごと館の包括的民間委託について（経緯）

## 「独立行政法人整理合理化計画」(平成19年12月24日閣議決定)(抄)

組織の見直し

【組織体制の抜本的見直し】

- 私のしごと館については、運営を包括的に民間に委託し、第三者委員会による外部評価を実施し、その結果を踏まえて、1年以内に存廃を含めその在り方について検討を行う。

## 私のしごと館のあり方検討会

私のしごと館について、存廃を含めた在り方に関すること等を検討するため、経済界、教育界等の有識者からなる「私のしごと館のあり方検討会」を本年3月以降、3回開催し、私のしごと館及びキッザニア東京の視察を踏まえて熱心に議論を行い、私のしごと館の包括的民間委託に当たっての視点・考え方を取りまとめた。

## 行政減量・効率化有識者会議

上記取りまとめについて、5月21日に開かれた行政減量・効率化有識者会議において、厚生労働省から説明したところ、「委託の手続きを始めてもらうことについては了承し、年末に評価を行うことについて確認する。」との結論が得られた。

## 包括的民間委託に係る入札公告の実施及び今後のスケジュール

平成20年6月16日	入札公告
平成20年7月11日	応札期限(2社が応札)
平成20年7月下旬	外部有識者等による企画審査、開札・落札決定 引継期間(1か月強)
平成20年9月 1日	民間委託開始予定
平成20年末まで	(第4回私のしごと館のあり方検討会) 委託先からのヒアリング・実施状況評価 (第5回私のしごと館のあり方検討会) 報告取りまとめ

## 私のしごと館のあり方検討会 構成員

	石原 俊介	ムデイズ・ジャパン ストラクチャード ファイナンス マネジング ディレクター
	鹿嶋 敬	実践女子大学人間社会学部教授（元日経論説委員）
座長	加藤 丈夫	富士電機ホールディングス株式会社相談役
	加藤 裕治	全日本自動車産業労働組合総連合会会長
	工藤 啓	NPO法人「育て上げ」ネット理事長
	長南 祐志	東京都調布市立第六中学校長
	橋本 浩樹	王子製紙株式会社取締役業務執行役員・人事本部長兼務
	マイア・フィン	ドイツ経済新聞ハンデルスブラット特派員
	前島 富雄	埼玉県高等学校長協会会長・県立浦和高校長
	牧野 明次	岩谷産業株式会社社長
座長代理	宮本みち子	放送大学教養学部教授
	森永 卓郎	獨協大学経済学部教授
	山口 学	エム・エス・コンサルティング代表取締役
	吉永みち子	作家

（五十音順 敬称略）

# 私のしごと館の包括的民間委託の視点・考え方 (私のしごと館のあり方検討会取りまとめ)

## 1 民間事業者の裁量の範囲

職業キャリア教育の中核をなす職業体験事業については必須。一方、民間事業者の創意工夫に委ねるため、それ以外の事業については、広範な裁量に委ねる。

## 2 収支

5年後目途のあるべき姿として、収支率5割を目指す。

その考え方としては、職業キャリア教育施策としての職業体験事業については、幅広く学生・生徒の利用を図るため、料金を低廉に抑えると、料金を差し引いても6億円程度の財政援助が必要。

一方、職業体験事業以外の、しごと館自体の運営については、人件費、事務所経費等、6~7億円程度の経費を要するが、これについては、企業からの収入を中心に、民の創意工夫の発揮により、自前調達を目指すことも可能。

以上をまとめると、約12億円の運営費(支出)を分母として、6~7億円程度の自前収入、収支率5割程度という水準となる。

最終的に5年後には、施策としての体験事業と館自体の運営を別事業として区別し、施策としての体験事業はインターンシップ奨励施策と同様、委託費など国からの財政支援のもとに行い、館自体の運営については自前で行うことにより、館のあり方を明確にし、効果的な運営を行う道を考える必要がある。

## 3 委託期間

6ヶ月というような短期の設定をすることについては、民間が引き受けることは不可能として、検討会では強い反発があり、3年とすることが大半の委員の意見であった。一方で、行政改革上の要請を踏まえる必要があることから、委託期間については2年とする。

## 4 関係機関等のバックアップ

今後も、厚生労働省、雇用・能力開発機構、経済団体、教育界等によるバックアップを行う。

## 5 評価

本年末においては、収支改善に向けた問題点・課題及び職業キャリア教育としての効果を高める上での問題点・課題について分析を行っているか、あるいは行おうとしているかなど、委託期間終了時の目標を展望した着実な努力を実施しているかをチェックした上で、その結果をもとに存廃を含めたあり方を検討。

委託後においても、本年末のほか、1年後、2年後と段階を踏んで評価をし、その結果をもとに存廃を含めたあり方を検討。

## 舩添大臣の「私のしごと館」視察について

- 視察日時：平成20年7月2日（水）11：30～12：45
- 意見交換出席者：木津川市長、精華町副町長、井澤京子議員、山井和則議員

### 舩添大臣の主な発言要旨

- 私のしごと館については、昨年末の閣議決定を受けて、第三者委員会を開催しているが、この検討会で、民間委託の方針がまとめられているので、これを尊重したい。
- 職業教育は、ペイしないからやらない、というのではなく、ムダを減らしながら、最低限のセーフィーネットとして、国がやるべき労働政策の一環として考えている。
- 580億円で建てたものを取り壊すという選択肢はありえない。赤字を減らしながら、これをいかに活用するか考えていきたい。

### 地元地方公共団体参加者からの発言要旨

- 関西文化学術研究都市として、しごと館には自分たちも熱い思いを持っている。費用対効果など、色々な問題はあるが、たくさんの方が利用していただけるような良い方法を検討し、存続してほしい。
- 将来のある子供たちのためにも是非、残してほしい。節約できる部分はあるだろうが、地元としてもイベントで活用するなど、最大限の協力をしていきたい。